

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市秋保二口キャンプ場・仙台市秋保ビジターセンター・せんだい秋保文化の里センター		
2 指定管理者	一般社団法人秋保地域活性化協議会		
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 81,059人(前年度比99.6%) ※令和5年6月19日～令和6年3月31日までビジターセンター改修のため使用不可 令和4年度 81,369人 令和3年度 68,778人		
	《事業》 ・3施設の管理運営業務 ・秋保の賑わい創出を通じた交流人口の維持拡大 ・仙台市西部地区、秋保の情報発信及びPR活動		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 65,364千円 (69,584千円) ・ その他市が負担した費用 1,589千円 (9,857千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 956千円 (971千円) ・ その他収入 992千円 (2,904千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 館内にアンケート用紙を設置し常時ご意見を頂いていると共に、電話、メール等でのご意見、ご要望も受けている。地域住民からの要望は直接、ご意見を頂いている。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	温泉観光地としての秋保・自然豊かな二口峡谷等を活用した誘客イベントを行うなど、施設の設置目的を職員が理解しており、適切な管理運営が行われている。また、プライベートを含め、普段より情報収集に努め、情報の共有をはかり観光施設としての役割を果たすべく職員が活動している。職員は、宮城で一番の案内施設となるという目標のもと、組織改革、自己啓発に努めている。	39/39
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績、配置状況、開館状況、経費処理等、適切に運営管理している。組織及び職員の意識変革、業務改善に努め、利用者にとって良い施設の運営は何かを心がけ運営している。一方で、経理の処理において、事務処理の遅滞が見られたことから、次年度に向けて事務処理の体制の見直しを行ったという状況がある。	28/30
III 施設・設備の維持管理	定期点検の実施や不具合箇所についての報告など、指定管理者が対応すべき施設整備業務について適切に対応している。備品の管理や、清掃も行き届いており、環境への配慮も適切に取り組んでいる。数年後に大規模改修を控えているが、老朽化が進み、各所不具合が発生しているため、その都度所管課へ速やかに連絡をいれ対応、独自で修繕も実施している。	24/24
IV サービスの質の向上	当該施設の案内やパンフレットの配布、SNSなどの様々な媒体を活用し、利用促進・認知拡充に努めるとともに、地域と連携し地元のタイムリーな情報の入手及び発信にも努めている。時には、現場に赴き、職員自ら情報収集に務め、利用者への情報提供に努めている。また、利用者に対して適切に接客や受付対応を行うとともに、利用者へのアンケート回答内容なども踏まえ、利用しやすい環境づくりを心がけながら、サービスの質の向上に努めている。利用者に対してより良い対応を行うため、職員の観光スポットに対する理解を深めるための研修実施、専門家による講義を実施するなど、自己研鑽にも力を注いでいる。	29/28
V 施設固有の基準	地域団体(地元町内会・商工会や秋保温泉旅館組合、自然教育グループ、地域活性化団体等)と協力し、地域イベントなどを開催することにより、秋保地域全体の魅力向上に努めており、観光振興の取組みとともに地域づくりの拠点としての機能を担っている。温泉観光地である秋保の魅力発信、情報発信を常に心がけ、事業の運営を実施している。	7/6

三 評価総括

《指定管理者（一般社団法人秋保地域活性化協議会）による自己評価》
<p>せんだい秋保文化の里センターは秋保温泉郷観光案内所を併設し、観光客への宿泊や日帰り入浴の案内、地域のイベント、飲食・観光スポットなど様々な情報を提供。また館内では歴史、風土、文化などを紹介する展示や、多目的ルームでの季節に応じた展示会や音楽イベント等を開催。地域情報月刊紙「かわらばん」を地域住民へ配布・新聞折込、仙台市内外へ配架、HP、SNSを充実して情報発信を拡充し秋保温泉への集客を図り、観光振興に努めている。地域住民や学校、宿泊施設など各施設、地元団体とも連携し、地域活性化の為に観農商工の連携によるイベントの企画・運営の役割も担っている。</p> <p>秋保ビジターセンターでは、二口溪谷や警司岩などへの観光案内と名取川上流の豊かな自然と触れ合う体験学習のイベント、また大東岳等への登山受付、二口キャンプ場の運営を行っている。令和5年度はビジターセンター改修工事のため、仮事務所をキャンプ場内に設置し、二口峡谷の案内等に努めた。二口に生息する動植物学習、滝巡り、自然歩道観察会などの自然を活かした体験、秋保地域の方々に協力して頂いてのワークショップ、石窯を利用した食体験などのイベントを開催。二口キャンプ場は、二口林道開通やアウトドアブームの追い風もあり、都会と隔絶された自然の中で時間を楽しめると人気を集めている。地元の野尻町内会と連携し、キャンプ場清掃や設備点検、補修などにご協力頂くなど、地域と密着しながら当施設を運営している。</p> <p>秋保・里センターは大雨時の地区避難施設として、また、秋保ビジターセンターは非常時の観光客一時避難先、及び、遭難救助対策の前線基地としての役割という側面も持ち、地域に欠かせない施設となっている。当年度は、地域への誘客を考えた活動を通して、観光施設との協力体制も強化できた。今後も、魅力あるイベントの企画充実を図り、地域の活性化と観光拠点としての役割を果たしていく。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>せんだい秋保文化の里センターでは、地元の温泉旅館や工芸作家、農家の方々等とも連携し、体験教室や音楽イベント、工芸展等の観光客にとって魅力あるイベントを企画し実施している。令和5年度は各観光スポットの新設や情報の変更が多い中、タイムリーな情報収集に努め、来館者へ最新の観光情報を提供することで、来館頂いた観光客の方の満足度向上に寄与するなど、観光案内所機能としてもよりよい施設運営に取り組んできた。施設利用者からの相談時に、職員自身が二口地域等、施設から少々離れた観光資源の魅力も理解して適切に説明できるよう、大東岳登山・二口峡谷についての登山ガイドによる職員向け実地研修を実施した。それにより、これまで以上に詳しい観光案内ができるようになった。里センター職員をビジターセンターへ毎月派遣し、里センター職員の理解が弱かったビジターセンター周辺についての理解深耕を目的とした人材交流を行うなど、日々自己研鑽に勤める組織風土醸成にも力を注いでいる。</p> <p>ビジターセンター・キャンプ場においては、活動団体や地元町内会と連携を図りながら、自然を活用した魅力あるイベントを企画実施するとともに、軽微な修繕や清掃等についても協力等を得て実施するなど、地域一体となった施設運営に努めている。令和5年度は、ビジターセンター改修工事のため、仮事務所をキャンプ場内に設置し、二口峡谷の案内等の対応を行った。また、ビジターセンターリニューアルオープン後の利用促進に向けて、当課と意見交換や各種調整に取り組んだ。</p> <p>これらのことから、指定管理者である（一社）秋保地域活性化協議会は、「秋保・二口地域の観光交流施設として、来館者に観光情報等の提供を行い、地域の歴史・文化・自然にふれあえる場を提供する」という、それぞれの施設の設置目的を達成していると評価する。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):文化観光局観光交流部観光課